

エコアクション21 環境経営活動レポート



株式会社 丸富精工

(取組期間 2023年9月～2024年8月)

作成日 2024年10月10日

目次

	ページ
1. 会社概要	1
2. 企業理念・環境経営方針	2
3. 実施体制図	3
4. 環境経営目標	4
5. 環境経営計画及び手順の実施状況	5
6. 環境経営目標の達成状況（実績）	6
7. 環境経営計画の取組結果	7,8
8. 次年度の環境経営計画及び手順の実施状況	9
9. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無	10
10. 代表者による全体の評価と見直し・指示	11

会社概要

(1) 事業者名及び代表者名

株式会社 丸富精工

代表取締役 野田泰伸

(2) 所在地

関工場 〒501-3936 岐阜県関市倉知字イクダ 3147-7

TEL 0575-24-5530

FAX 0575-24-5509



(3) 環境管理責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者 水元 淳 e-mail mizumoto@maru-tomi.co.jp

担当者 丸茂 真悟 e-mail marumo@maru-tomi.co.jp

連絡先

関工場 〒501-3936 岐阜県関市倉知字イクダ 3147-7

TEL 0575-24-5530

FAX 0575-24-5509

(4) 事業規模

創立 1962（昭和 37）年 7 月

従業員数 28 名

敷地面積 3467 m²

床面積 2734 m²

売上額 273 百万円（2023 年 8 月 21 日～2024 年 8 月 20 日）

(5) 事業内容

精密機械加工

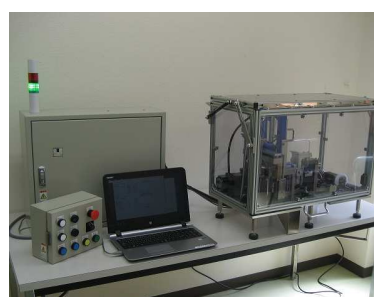
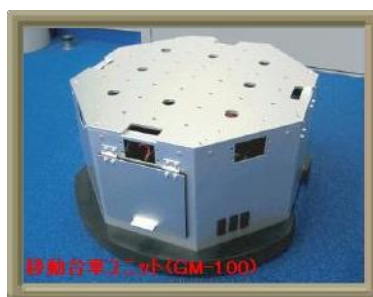
特殊機械設計～機械加工～組立

印刷機械・包装機械・各種専用機・各種治工具

共同開発（産官学連携）

(6) 対象範囲 対象組織：全組織・全活動

対象活動：産業機械の設計・製造・組立、産業機械の共同開発



企業理念

物創りを通して、社会に貢献し、自己実現を計り、顧客に満足を与える。

環境経営方針

環境理念

株式会社丸富精工は精密機械加工、機械組立、設計、共同開発の事業活動において環境に影響する業務があることを認識し、環境経営システムの構築及び運営することにより、環境保全活動を自主的積極的に推進します。

行動指針

- (1) 当社に、適用される法規制、当社が同意するその他の要求事項を遵守します。
- (2) 次の事項について具体的な環境経営目標・環境経営計画を定め実施します。
 - ① 省エネルギーに取り組み二酸化炭素の排出量を削減します。
 - ② 分別の徹底・リサイクルの推進に努め廃棄物排出量を削減します。
 - ③ 節水に努め総排水量を削減します。
 - ④ 不適合品の削減に努めます。
 - ⑤ 社会貢献活動を積極的行います。
 - ⑥ 事業活動において5Sを促進します。
 - ⑦ 化学物質の適正管理を行います。
- (3) 本方針を全社員に周知し、環境経営システムの継続的改善を進めます。

制定日 2009年11月30日

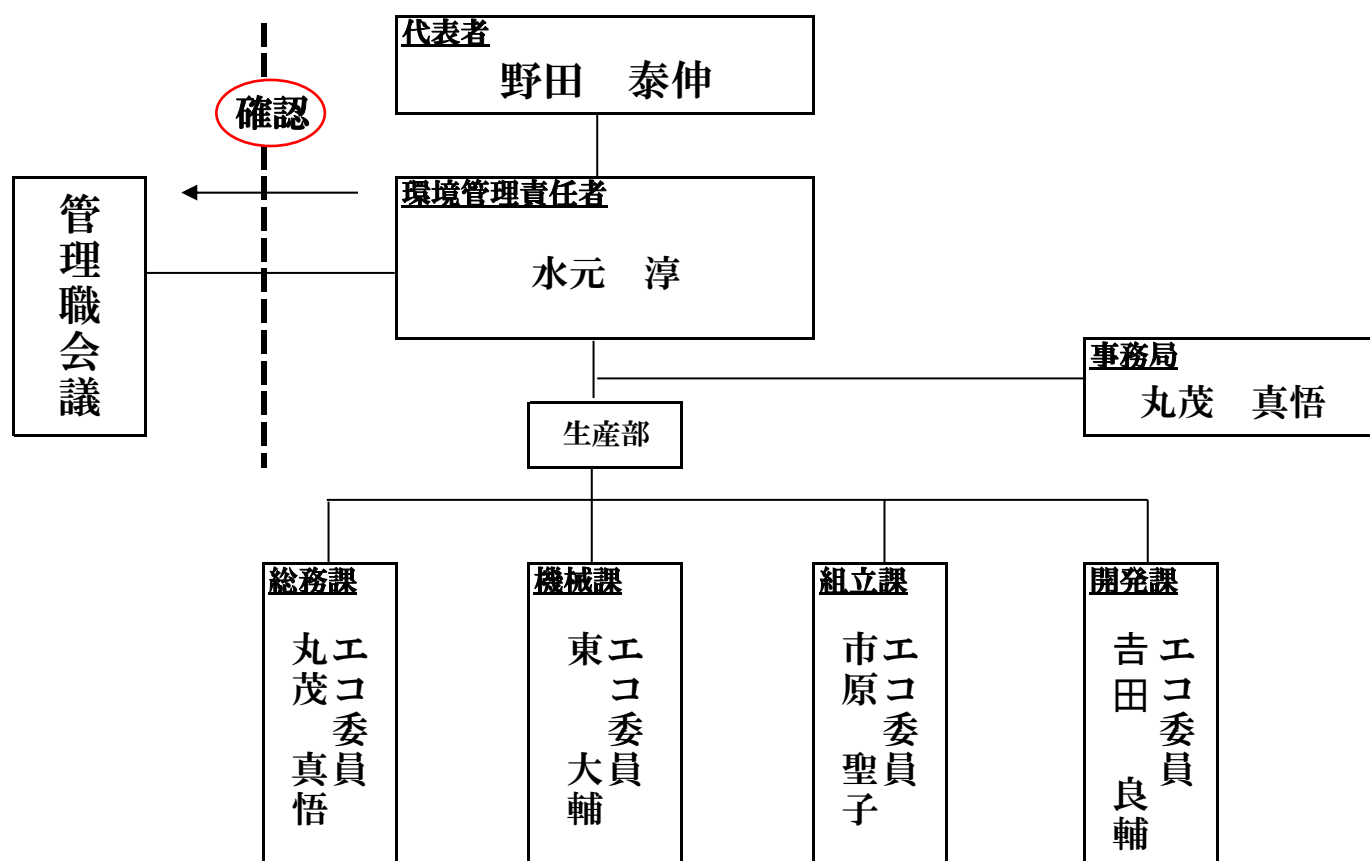
改訂日 2018年11月1日

改訂日 2021年10月14日

株式会社丸富精工

代表取締役 **野田泰伸**

実施体制図



役割・責任・権限

役割	担当者	責任・権限
代表者	野田泰伸	環境経営方針の作成、環境管理責任者の任命、資源(人員・設備・費用等)の準備、代表者による全体の評価と見直し。
環境管理責任者	水元 淳	代表者に代わり環境経営システムを構築・運用し、その状況を代表者に報告する。エコアクション事務局主催の研修会等の参加。社員へのエコアクション教育 外部からの苦情等の受付と必要な対応及び結果の記録。
事務局	丸茂真悟	環境関連文書及び記録の素案作成・管理等。
エコ委員	吉田 良輔	各課のリーダー的存在。 EA21取り組み実施、実施状況確認・記録・事務局へ提出。
	東 大輔	
	市原聖子	
	丸茂真悟	
運営補佐	管理職	環境管理責任者よりの方針・活動の実施の報告を受け、運営に対する補佐・助言を行う。
全従業員		環境経営方針の理解と環境への取組みの重要性の理解 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

環境経営目標

環境経営目標については、昨年度(2022年9月～2023年8月)の実績を
年度基準として中期目標を設定する。

項目		基準年度 実績値	基準年度 原単位評価	2023年度 (本年度)	2024年度	2025年度
二酸化炭素排出量の削減(kg)		126630.90	472.50	1%削減	2%削減	3%削減
総 エ ネ ル ギ ー 使 用 量	電気使用量(kWh)	201560.0	752.09	1%削減	2%削減	3%削減
	灯油使用量(L)	5268.0	19.66	1%削減	2%削減	3%削減
	軽油使用量(L)	571.85	2.13	1%削減	2%削減	3%削減
	ガソリン使用量(L)	5652.58	21.09	1%削減	2%削減	3%削減
	LPガス使用量(kg)	33.53	1.12	1%削減	2%削減	3%削減
一般廃棄物排出量の削減(kg)		3280.0	12.24	1%削減	2%削減	3%削減
産業廃棄物排出量の削減(kg)		454.0	1.69	1%削減	2%削減	3%削減
水使用量の削減(m ³)		886.5	29.55	1%削減	2%削減	3%削減
不適合品の削減(件数)		77	原単位評価 しない	1%削減	2%削減	3%削減
地域清掃活動年2回		2回	原単位評価 しない	2回	2回	2回
5S活動の維持継続		個人:週1回 全体:半年に1回	原単位評価 しない	個人:週1回 全体:半年に1回	個人:週1回 全体:半年に1回	個人:週1回 全体:半年に1回
化学物質の適正管理		適正管理	原単位評価 しない	適正管理	適正管理	適正管理

注) 原単位評価は、LPガス及び水使用量は2022年度社員数30を基に、他は2022年度売上268百万円を基に計算

注) 地域清掃活動は、社内全体で年2回(1回30～60分程度)を目標とする。

注) 5S活動は、個人作業範囲内を週1回、社内全体的な活動を半年に1回として目標とする。

注) 化学物質は少量危険物保管申請の上でラッカーシンナーと塗料、灯油を使用しているが、
削減は難しいので削減目標は設定しないで適正管理とする。

注) 二酸化炭素排出量は最新データ及び
購入電力の二酸化炭素排出係数 0.484(kg-CO₂/kWh)を使用し算出しております。
(日本テクノ2022年度調整後排出係数使用)

環境経営計画及び手順の実施状況 期間：2023年度(2023.9～2024.8)

承認	確認	作成
野田泰伸	水元 淳	丸茂真悟
代表者	責任者	事務局

作成日：2023年8月21日 更新日：2024年3月 4日

実施状況： ◎：実施 △：一部未実施 ×：未実施 ―：対象外

環境方針	環境目標項目	取組内容	頻度	責任者	2023年度(2023.9～2024.8)年間スケジュール																
					月	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8				
二酸化炭素排出量	電気使用量の削減 基準年度比1%減	照明は朝8:00から点灯、昼休み(12:00～12:45)の消灯を当番制にして確認	常時	各部署 毎担当者	計画 実績	運用 ◎	運用 ◎	運用 ◎	運用 ◎	運用 ◎	運用 ◎	運用 ◎	運用 ◎	運用 ◎	運用 ◎	運用 ◎	運用 ◎	運用 ◎			
		エアコンの室内温度管理(夏:28℃程度 冬:20℃程度)、昨年以上の節電対策を設ける 終了15分前には消す	エアコン 使用時	各部署毎の課長 又はエコ委員	計画 実績	運用 ◎	運用 ◎	運用 ◎	運用 ◎	運用 ◎	運用 ◎	運用 ◎	運用 ◎	運用 ◎	運用 ◎	運用 ◎	運用 ◎	運用 ◎			
		エアコン、コンプレッサーフィルター清掃	年2回	吉田	計画 実績	— —	— —	— ×	実施 ◎	— ◎	— —	— —	— —	— —	実施 ×	— ◎	— —	— ◎	— ◎		
		新規導入した使用電力監視システムを有効活用し、電力使用を抑える。また毎月使用量を提示して、先月、前年比較を全社員で把握する	適時 月に1回	水元	計画 実績	確認 ◎	確認 ◎	確認 ◎	確認 ◎	確認 ◎	確認 ◎	確認 ◎	確認 ◎	確認 ◎	確認 ◎	確認 ◎	確認 ◎	確認 ◎	確認 ◎		
		パソコンモニターは席を離れる時は電源OFF(待機電力の節約)	離席時	各自	計画 実績	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎		
		加工場のエアコン室外機を日陰にする。	春まで に	エコ委員	計画 実績	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	検討 ◎	購入 ×	取付 ×	— ◎	— ◎	— —	— —		
		灯油使用量の削減 基準年度比1%減	ストーブの使用制限 大型ストーブ使用期間:12月～3月	ストーブ 使用時	各自	計画 実績	— —	— —	— —	運用 ◎	運用 ◎	運用 ◎	運用 ◎	運用 ◎	片付け ◎	— ◎	— ◎	— ◎	— ◎	— ◎	
	ストーブの使用制限 小型ストーブ使用期間:11月～4月20日		ストーブ 使用時	各自	計画 実績	— —	— —	運用 ◎	運用 ◎	運用 ◎	運用 ◎	運用 ◎	運用 ◎	片付け ◎	— ◎	— ◎	— ◎	— ◎	— ◎		
	ストーブの火力の制限の啓発 注意喚起の回数を増やす。		ストーブ 使用時	各自	計画 実績	— —	— —	運用 ◎	運用 ◎	運用 ◎	運用 ◎	運用 ◎	運用 ◎	運用 ◎	— ◎	— ◎	— ◎	— ◎	— ◎		
	終了15分前にはOFF(余熱の利用)の強化		ストーブ 使用時	各自	計画 実績	— —	— —	運用 ◎	運用 ◎	運用 ◎	運用 ◎	運用 ◎	運用 ◎	片付け ◎	— ◎	— ◎	— ◎	— ◎	— ◎		
	扉の開け閉めの徹底(熱を逃がさない)の強化		ストーブ 使用時	各自	計画 実績	— —	— —	運用 ◎	運用 ◎	運用 ◎	運用 ◎	運用 ◎	運用 ◎	運用 ◎	— ◎	— ◎	— ◎	— ◎	— ◎		
	軽油・ガソリン 使用量の削減 基準年度比1%減		車種別の燃費・走行距離のデータ集計の継続	月1回	吉田	計画 実績	集計 ◎	集計 ◎	集計 ◎	集計 ◎	集計 ◎	集計 ◎	集計 ◎	集計 ◎	集計 ◎	集計 ◎	集計 ◎	集計 ◎	集計 ◎	集計 ◎	
		エコドライブの啓蒙活動の強化 エコドライブポスターの掲示	強化月 間あり	水元	計画 実績	啓蒙 ◎	啓蒙 ◎	啓蒙 ◎	啓蒙 ◎	啓蒙 ◎	啓蒙 ◎	啓蒙 ◎	啓蒙 ◎	啓蒙 ◎	啓蒙 ◎	啓蒙 ◎	啓蒙 ◎	啓蒙 ◎	啓蒙 ◎		
		宅配発送による納品の推奨(コストメリットある時)	適時	水元	計画 実績	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎		
	LPガス使用量の削減 基準年度比1%減	節約対策(元栓の確認・ガスの使用制限)	常時	総務	計画 実績	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎		
		一般廃棄物の削減 基準年度比1%減	コピー用紙使用量の削減 (両面印刷機能の有効活用)	常時	各自	計画 実績	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	
	ウェス使用量の削減、ウェスの使用量と単価を周知して削減の啓蒙活動とする		強化月 間あり	水元	計画 実績	啓蒙 ◎	啓蒙 ◎	啓蒙 ◎	啓蒙 ◎	啓蒙 ◎	啓蒙 ◎	啓蒙 ◎	啓蒙 ◎	啓蒙 ◎	啓蒙 ◎	啓蒙 ◎	啓蒙 ◎	啓蒙 ◎	啓蒙 ◎		
	FAXの使用をなるべく減らし、 メール等の活用を増やしていく		常時	各自	計画 実績	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎		
	シュレッダーをして破棄すると燃えるゴミになってしまう為、古紙回収業者を利用して紙ゴミを削減		適時	水元	計画 実績	古 紙	紙 が	溜 ま	溜 ま	溜 ま	溜 ま	溜 ま	溜 ま	溜 ま	溜 ま	溜 ま	溜 ま	溜 ま	溜 ま		
	段ボール箱の再利用		常時	出荷担当	計画 実績	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎		
客先からCADデータをもらい、紙でのやり取りを減らす。	適時		丸茂	計画 実績	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎			
客先からCADデータをもらい、紙でのやり取りを減らす。	適時		丸茂	計画 実績	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎			
産業廃棄物の削減 基準年度比1%減	不要・不急のモノを買わない 物を大切に扱い使用期間を延ばす	適時	工場長	計画 実績	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎			
	洗浄で使用するシンナーの再利用。 (一度使ったシンナーの汚れを分離させる)	常時	丸茂	計画 実績	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎			
総排水量	水使用量の削減 基準年度比1%減	昼休み時、水漏れチェック(当番制)	常時	各部署 毎担当者	計画 実績	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎			
		水道元栓を始業前に開け、終業時閉める。 コロナ対策の手洗いは十分に行う	毎日	社長or 工場長	計画 実績	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎			
		地中配管漏れ補修工事	適時	社長	計画 実績	— ◎	調査 ◎	調査 ◎	実施 ◎	観察 ◎	観察 ◎	観察 ◎	観察 ◎	観察 ◎	観察 ◎	観察 ◎	観察 ◎	観察 ◎			
		節水ポスターを新規デザインに貼替	年度初 め	吉田	計画 実績	実施 ◎	啓蒙 ◎	啓蒙 ◎	啓蒙 ◎	啓蒙 ◎	啓蒙 ◎	啓蒙 ◎	啓蒙 ◎	啓蒙 ◎	啓蒙 ◎	啓蒙 ◎	啓蒙 ◎	啓蒙 ◎			
不適合品	不適合品の削減 基準年度比1%減	不適合発生時、 加工者への注意喚起及び原因の特定	不具合 発生毎	各自	計画 実績	運用 ◎	運用 ◎	運用 ◎	運用 ◎	運用 ◎	運用 ◎	運用 ◎	運用 ◎	運用 ◎	運用 ◎	運用 ◎	運用 ◎	運用 ◎			
		不具合情報の水平展開 不具合報告書の回覧	月1回	丸茂	計画 実績	運用 ◎	運用 ◎	運用 ◎	運用 ◎	運用 ◎	運用 ◎	運用 ◎	運用 ◎	運用 ◎	運用 ◎	運用 ◎	運用 ◎	運用 ◎			
		発生原因のなぜなぜを3回繰り返し再発防止とする	不具合 発生毎	各自	計画 実績	運用 ◎	運用 ◎	運用 ◎	運用 ◎	運用 ◎	運用 ◎	運用 ◎	運用 ◎	運用 ◎	運用 ◎	運用 ◎	運用 ◎	運用 ◎			
		不適合があった加工図面及び社内伝票に注記の記載を強化し再発防止を心掛ける	適時	発注担当	計画 実績	運用 ◎	運用 ◎	運用 ◎	運用 ◎	運用 ◎	運用 ◎	運用 ◎	運用 ◎	運用 ◎	運用 ◎	運用 ◎	運用 ◎	運用 ◎			
		納品後の不適合に対し客先への報告書提出	不具合 発生毎	丸茂	計画 実績	運用 ◎	運用 ◎	運用 ◎	運用 ◎	運用 ◎	運用 ◎	運用 ◎	運用 ◎	運用 ◎	運用 ◎	運用 ◎	運用 ◎	運用 ◎			
		CAD/CAMの活用	適時	各自	計画 実績	運用 ◎	運用 ◎	運用 ◎	運用 ◎	運用 ◎	運用 ◎	運用 ◎	運用 ◎	運用 ◎	運用 ◎	運用 ◎	運用 ◎	運用 ◎			
		毎月不具合発生件数を提示して全員で把握する	月1回	水元	計画 実績	運用 ◎	運用 ◎	運用 ◎	運用 ◎	運用 ◎	運用 ◎	運用 ◎	運用 ◎	運用 ◎	運用 ◎	運用 ◎	運用 ◎	運用 ◎			
社会貢献	地域清掃活動	会社周辺道路のゴミ拾いや草刈りをする。 事前に日時を決め、夏は朝、冬は午後11時間程度	年2回	水元	計画 実績	— —	— —	実施 (午後)	— —	— —	— —	— —	— —	実施 (朝)	— —	— —	— —	— —			
5S	5S活動	年間を通じて継続的な5S活動実施 特に整理整頓を強化活動とし、生産性効率UP	年間を 通して	各自	計画 実績	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎	実施 ◎				
その他の活動																					
環境コミュニケーション			ドライ粉置き場の油漏れ対策 溝を掘って油をせき止める	適時	水元	計画 実績	— —	— —	— —	実施 ×	— ×	— ×	— ×	— ×	— ×	— ×	— ×	— ◎			
エコアクション教育			エコアクションによる理解を深める為に、教育時間を 設けて、勉強会を実施※新人が入った時のみ実施	年1回	水元	計画 実績	新 入	入 社	入 社	入 社	入 社	入 社	入 社	入 社	入 社	入 社	入 社				
月間重点目標 啓蒙活動			環境経営活動目標の月間重点目標を設けて提示する。 11月:エコドライブ、1月:灯油節約、7月:エアコン節約など	月1回	水元	計画 実績	掲示 ◎	掲示 ◎	掲示 ◎	掲示 ◎	掲示 ◎	掲示 ◎	掲示 ◎	掲示 ◎	掲示 ◎	掲示 ◎	掲示 ◎	掲示 ◎			
フロンガス簡易点検			フロン漏れ点検義務化により 簡易点検を実施	3ヶ月に 1回	エコ委員	計画 実績	点検 ◎	— ◎	— ◎	点検 ◎	— ◎	— ◎	点検 ◎	— ◎	点検 ◎	— ◎	— ◎				
緊急事態訓練			想定する緊急事態(工場内にて火災発生)に対して火災訓練 実施	年1回	全社員	計画 実績	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	実施 ◎	— —				
活動計画実施状況の評価					年2回	責任者	環境 管理 責任	2024.3.4確認済。ドライ粉置き場の油漏れ対策 について、進めて貰えるように社長に打診。										活動が遅れ×が付いたものがあつたが、最終的 には残作業も無く、一通り実施することができ た。次年度は、削減目標未達成項目の活動を見 直す。			

○環境管理責任者は半年に一度計画の遵守状況を確認し、目標を達成できていないものに対し、新たな対応策を設けること。

環境経営目標の達成状況（実績）

環境への取り組みの実地期間を、2023年9月～2024年8月の1年間として進捗状況を次に記載しました。

		取組期間目標値 (原単位評価)	取組期間実績値 (原単位評価)	達成度増減 (%) (原単位評価)	総量評価** (原単位評価)
二酸化炭素排出量の削減 kg-CO ₂		125364.59	122906.09	98.0%	○
(kg-CO ₂ /百万円)		467.78	450.21	96.2%	○
総 エ ネ ル ギ ー 使 用 量	電気使用量 k W h	199544.4	196440.0	98.4%	○
	(k W h/百万円)	744.57	719.56	96.6%	○
	灯油排出量 L	5215.3	5497.0	105.4%	×
	(L/百万円)	19.46	20.14	103.5%	×
	軽油使用量 L	566.13	712.55	125.9%	×
	(L/百万円)	2.11	2.61	123.6%	×
	ガソリン使用量 L	5596.05	5273.67	94.2%	○
	(L/百万円)	20.9	19.3	92.5%	○
	LPガス使用量kg	33.19	22.77	68.6%	○
	(m ³ /人)	1.11	0.81	73.5%	○
一般廃棄物排出量の削減 kg		3247.2	2440.0	75.1%	○
(kg/百万円)		12.12	8.94	73.8%	○
産業廃棄物排出量の削減 kg		449.5	4250.0	945.6%	×
(kg/百万円)		1.68	15.57	928.3%	×
水使用量の削減 m ³		877.6	467.5	53.3%	○
(m ³ /人)		29.25	16.70	57.1%	○
不適合品の削減 件数		76	77	101.0%	×
地域清掃活動年2回		2回	2回		○
5 S活動の維持継続		個人：週1回 全体：半年に1回	個人：週1回 全体：半年に1回		○
化学物質の適正管理		適正管理	適正管理		○

注)

目標値原単位評価は、LPガス及び水使用量が2022年度社員数30を基に、他は2022年度売上268百万円で計算
実績値原単位評価は、LPガス及び水使用量が2023年度社員数28を基に、他は2023年度売上273百万円で計算

**は削減目標値を達成した場合は○、未達成の場合は×と表示しております。

達成状況

二酸化炭素排出量は目標値に対して原単位評価をすると約9%の削減となった。

目標値に対して単に増加してしまった項目として灯油・軽油・産業廃棄物、不適合品となりました。

化学物質に関しては少量危険物保管申請の上、出入庫を記録し適正管理している。

今後、今回目標を未達成に終わった項目を重点に削減対策が必要。

注) 二酸化炭素排出量は最新データ及び

購入電力の二酸化炭素排出係数 0.484 (kg-CO₂/kWh)を使用し算出しております。

(日本テクノ2022年度調整後排出係数使用)

環境経営計画取組結果

1) 二酸化炭素排出量＜評価＞

原単位評価で比較すると、二酸化炭素排出量の削減目標（-1%）を達成しました。（2%減）

①電気使用量の削減

- ・電気使用量は原単位評価で-3.4%となり達成したことは評価できる。日頃の啓蒙活動の結果が出た。
- ・照明の使用時間の規制…昨年同様、当番制にて消灯チェックを全社員で実施。約99%消灯出来ました。消し忘れの1%も当番により消灯を行いました。
- ・今年度も引き続き、使用電力監視システムを運用しました。夏のエアコン使用時のピーク電力を抑える取り組みをしました。
- ・2021度レポートにも書いた通り、2022年春に会社すぐ裏の山の木を広範囲に渡り伐採した為に会社の日陰がなくなってしまい、屋根やエアコン室外機の温度上昇に繋がったと思われます。よって、対象箇所に設置のエアコン室外機にカバーを設置して消費電力低減を実施しました。カバーの中と外では明らかに体感温度が違ったので効果を発揮しています。
- ・工場内温度は、昨年同様に例年より高めで頑張りました。

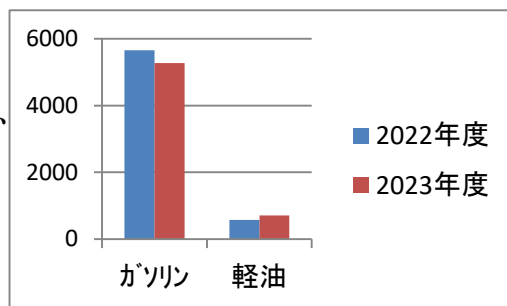


（写真1）室外機に日陰カバー設置

②化石燃料使用量削減

- ・ガソリン・軽油の節約対策…目標値と比べガソリンは7.5%の削減、軽油は約23.6%の増加になりました。（図1）軽油は増えてましたが、ガソリンが削減出来ました。仕事量は基準年と同等でしたが、納期だけは厳しいものが多い、お客様への納品や外注を回る回数は変わらず、積む量が減るだけの状況の中、良く出来た方だと判断します。

車種別の燃費データ及び走行距離データの集計では給油レシートの回収や細かなデータ集計が漏れなく出来ました。2022年度とのデータを比較し、全ての車種で燃費が向上する結果となりました。地道は啓蒙活動の成果であると考えます。次年度も継続していけるように活動して行く。



（図1）ガソリン・軽油使用量

＜車種別燃費計算結果＞

	km/ℓ				
	軽ワゴン	普通ワゴン	小トラック	大トラック	大トラックのみ軽油使用
2022年度	11.7	11.1	8.1	8.1	
2023年度	13.9	11.2	8.2	8.4	

- ・灯油の節約対策…目標値と比べ原単位評価にて約3.5%の増加。灯油を使い始めてひと月程度経った頃（12月）に、昨年と使用量を比較して使用制限協力の啓蒙を実施。（早い段階で意識に問いかける）（図2）扉、シャッターなどの開け閉めを徹底しましたが、昨年度より増加してしまいました。



（図2）注意喚起掲示

- ・LPガスの節約…目標値と比べ原単位評価で約31.4%の削減をしたことは評価できる。冬季にストーブの熱を使用して湯を沸かしたことが結果として出ている。

2) 廃棄物排出量＜評価＞

＜一般廃棄物＞

- ・コピー用紙使用量の削減…基準年度と使用量を比較しA3が2倍に増。ただし、A4が11750枚削減しているので全体としては同じ程度の使用量となりました。お客様から紙図面の提供が減り、当社でデータや原紙から加工用図面を印刷する機会が増えていることが避けられません。

	2022年度	2023年度
A4使用枚数	56000	44250
A3使用枚数	8500	17000

- ・ウェス使用量…基準年度69袋→今年度65袋 使用量は約6%減になりました。ウェスだけでも年間32.5万円の費用が発生しています。削減努力必要。
- ・一般廃棄物排出量の比較…目標値より原単位評価で約26.2%の削減。目標値より段ボールが約7%の減少、可燃ごみが約29%の削減となりました。段ボールの削減は梱包への再利用を積極的に行った結果で評価できる。

<産業廃棄物>

- 全体で目標値に比べ、約1150%の増加。基準年度は大規模な5S活動による物の廃棄や機械の切削油の交換等をしていなかった為、ほとんど廃棄物が出ていない状況でした。今年度は切削油の交換等をする時期になりましたので、このような結果となりました。金属くずを細かく分類して、リサイクル材料として業者引き取りとした。

3) 水使用量<評価>

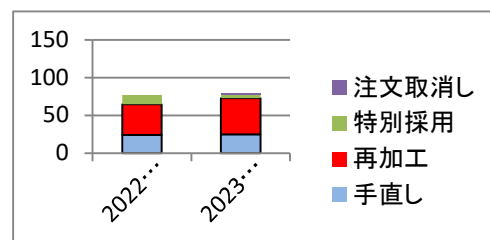
- 目標値を達成し、原単位評価で43%の削減。
- 使用量の削減…蛇口の水漏れチェックを当番制で実施。約99%水漏れ発生ありませんでしたが、残り1%も当番が蛇口を閉めました。毎日始業前に元栓を開けて、終業後に元栓を閉めるようにしています。
- 啓発ポスターを新しくして目に付くようにしました。
- 地中配管漏れの修理費用がかなりかかるので保留としていた。昨年度終盤には更に使用量が増えてきたので、地中漏れの水の費用を算出した。年8万円程度の無駄になると結論。2023.11.4水道工事を実施、使用量がかなり削減した。次年度は、漏れを省いた適正な使用量の把握と評価が出来る。



(図3) 啓発ポスター

4) 不適合品の削減<評価>

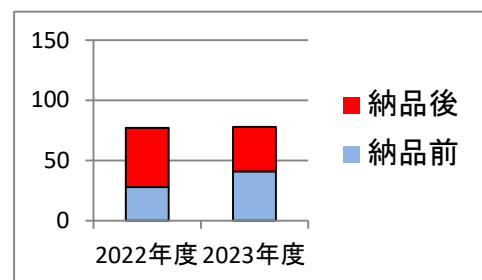
- 不適合品発生時の原因追求と対策…(図4、5)の発生件数を比較してみると、総数で1件の増加となりました。しかし、納品後の数が12件減ったことは評価できる。不適合品発生事例を社内回覧する事で防止対策を計りました。今後はこの管理を維持しつつ納品後の削減が求められる。納品後の不適合を減らす為に、測定漏れや思い込みによるミス無くす意識改革が必要。



(図4)不適合品発生件数

	発生件数			発生件数	
	2022年度	2023年度		2022年度	2023年度
手直し	24	25	納品前	28	41
再加工	41	48	納品後	49	37
特別採用	12	4	合計	77	78
注文取消し	0	2			
損失原価	1,455,879	6,723,908			

※損失原価は手直し品、再加工、注文取消し分全てを含む



(図5)不適合品発生件数

5) 地域活動<評価>

- 年2回の地域清掃活動実施…2023.11.15に責任者、事務局、エコ委員(合計5人)での地域清掃活動(ゴミ拾い)を実施しました。2024.5.11に会社全体での地域清掃活動(ゴミ拾い)を実施しました。また、2023.12.21に周辺の山から道路に飛び出している枝を刈りました。

6) 5S活動<評価>

- 5S活動の維持・継続…始業前、終業後など日々身の回りの整理・整頓に努めました。

7) 化学物質の適正管理<評価>

- 塗装用ラッカーシンナー少量使用、SDSを常備、少量危険物保管申請の上、適正管理している。
- 灯油は冬季暖房用に使用、SDSを常備、工場使用のため使用量が多いが200ℓ未満表示保管容器で必要に応じて購入補充使用量を記録し適正管理している。

その他

エコアクション教育<評価>

今年度は中途採用の方が、数名みえましたので、入社の際にエコアクションに関する教育を実施。合計2回の実施となりました。

省エネ診断の受診<評価>

7月に省エネルギーセンターの省エネ診断受けました。報告は9月になりますので、効果は次年度に期待。

月間重点目標<評価>

昨年度から始めた環境経営活動目標の月間重点目標を引き続き設けて掲示しました。

11月：エコドライブ(環境省のエコドライブ推進月間と合わせた)

1月：灯油節約

7月：エアコン節約

など、各月、年12項目を挙げました。

環境経営計画及び手順の実施状況 期間:2024年度(2024.9~2025.8)

承認	確認	作成
野田泰伸	水元 淳	吉田良輔
代表者	責任者	事務局

作成日:2024年8月21日 更新日:2025年2月 日

環境方針		環境目標項目	取組内容	頻度	責任者	実施状況： ◎：実施 △：一部未実施 ×：未実施 -：対象外												
						2024年度(2024.9～2025.8)年間スケジュール												
						月	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8
二酸化炭素排出量	電気使用量の削減 基準年度比2%減	照明は朝8:00から点灯、昼休み(12:00～12:45)の消灯を当番制にして確認	常時	各部署 毎担当者	計画	運用	運用	運用	運用	運用	運用	運用	運用	運用	運用	運用	運用	
		エアコンの室内温度管理(夏:28℃程度 冬:20℃程度)、昨年以上の節電対策を設ける 終了15分前には消す	エアコン 使用時	各部署毎の課長 又はエコ委員	計画	運用	運用	運用	運用	運用	運用	運用	運用	運用	運用	運用	運用	
		エアコン、コンプレッサーフィルター清掃	年2回	吉田	計画	—	—	実施	—	—	—	—	—	実施	—	—	—	
		使用電力監視システムを有効活用し、電力使用を抑える。 また毎月使用量を掲示して、先月、前年比較を全社員で把握する	適時 月に1回	水元	計画	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	
		パソコンモニターは席を離れる時は電源OFF (待機電力の節約)	離席時	各自	計画	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	
		工場空気配管の漏れ防止(チェックと修理)	常時	機械課課長	計画	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	
		ストーブの使用制限 大型ストーブ使用期間:12月～3月	ストーブ 使用時	各自	計画	—	—	—	運用	運用	運用	運用	片付け	—	—	—	—	
		ストーブの使用制限 小型ストーブ使用期間:11月～4月20日	ストーブ 使用時	各自	計画	—	—	運用	運用	運用	運用	運用	片付け	—	—	—	—	
		ストーブの火力の制限の啓発の強化 注意喚起の回数を増やす	ストーブ 使用時	各自	計画	—	—	運用	運用	運用	運用	運用	運用	—	—	—	—	
	灯油使用量の削減 基準年度比2%減	終了15分前にはOFF(余熱の利用)の強化 未使用時にはマメにストーブを切る	ストーブ 使用時	各自	計画	—	—	運用	運用	運用	運用	運用	運用	—	—	—	—	
		扉の開け閉めの徹底(熱を逃さない)の強化	ストーブ 使用時	各自	計画	—	—	運用	運用	運用	運用	運用	運用	—	—	—	—	
		車種別の燃費・走行距離のデータ集計の継続	月1回	吉田	計画	集計	集計	集計	集計	集計	集計	集計	集計	集計	集計	集計	集計	
		エコドライブの啓蒙活動の強化 エコドライブポスターの掲示	強化月間あり	水元	計画	啓蒙	啓蒙	啓蒙	啓蒙	啓蒙	啓蒙	啓蒙	啓蒙	啓蒙	啓蒙	啓蒙	啓蒙	
		宅配発送による納品の推奨(コストメリットある時) 納品ルート最適化計画	適時	工場長	計画	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	
		節約対策(元栓の確認・ガスの使用制限)	常時	総務	計画	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	
		一般廃棄物の削減 基準年度比2%減	コピー用紙使用量の削減 (両面印刷機能の有効活用)	常時	各自	計画	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施
			ウェス使用量の削減、ウェスの使用量と単価を周知して削減の啓蒙活動とする	強化月間あり	水元	計画	啓蒙	啓蒙	啓蒙	啓蒙	啓蒙	啓蒙	啓蒙	啓蒙	啓蒙	啓蒙	啓蒙	啓蒙
			FAXの使用をなるべく減らし、メール等の活用を増やしていく	常時	各自	計画	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施
古紙回収業者を利用した紙リサイクル推進の強化による紙ゴミの削減、徹底した回収。	適時		水元	計画	古	紙	が	溜	ま	り	次	第	都	度	実	施		
段ボール箱の再利用の強化	常時		出荷担当	計画	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施		
客先からCADデータをもらい、紙でのやり取りを減らす。	適時		丸茂	計画	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施		
産業廃棄物の削減 基準年度比2%減	不要・不急のモノを賣わない 物を大切に扱い使用期間を延ばす		適時	工場長	計画	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	
	洗浄で使用するシンナーの再利用。 (一度使ったシンナーの汚れを分離させる)		常時	丸茂	計画	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	
	昼休み時、水漏れチェック(当番制)		常時	各部署 毎担当者	計画	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	
総排水量	水使用量の削減 基準年度比2%減	水道元栓を始業前に開け、終業時閉める。	毎日	社長or 工場長	計画	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施		
		配管漏れが無いかどうか、使用量のチェック	明細毎	吉田	計画	実施	-	実施	-	実施	-	実施	-	実施	-	-		
		節水ポスターを新規デザインに貼替	年度初め	吉田	計画	実施	啓蒙	啓蒙	啓蒙	啓蒙	啓蒙	啓蒙	啓蒙	啓蒙	啓蒙	啓蒙	啓蒙	
	不適合品	不適合品の削減 基準年度比2%減	不適合発生時、加工者への注意喚起及び原因の特定	不具合発生毎	各自	計画	運用	運用	運用	運用	運用	運用	運用	運用	運用	運用		
			不具合情報の水平展開。不具合報告書の回覧 毎月不具合発生件数を掲示して全員で把握する。	月1回	丸茂	計画	運用	運用	運用	運用	運用	運用	運用	運用	運用	運用	運用	
			発生原因のなぜなぜを3回繰り返し再発防止とする	不具合発生毎	各自	計画	運用	運用	運用	運用	運用	運用	運用	運用	運用	運用	運用	
社会貢献	地域清掃活動	不適合があった加工図面及び社内伝票に注記の記載を強化し再発防止を心掛ける	適時	発注担当	計画	運用	運用	運用	運用	運用	運用	運用	運用	運用	運用	運用		
		納品後の不適合に対し客先への報告書提出	不具合発生毎	丸茂	計画	運用	運用	運用	運用	運用	運用	運用	運用	運用	運用	運用		
		CAD/CAMの活用	適時	各自	計画	運用	運用	運用	運用	運用	運用	運用	運用	運用	運用	運用		
		図面に記載する加工方法測定結果の基準を設ける。 特に精密、重要な部品には検査表を付けて納品する	適時	各自	計画	運用	運用	運用	運用	運用	運用	運用	運用	運用	運用	運用		
		会社周辺道路のゴミ拾いや草刈りをする。 事前に日時を決め、夏は朝、冬は午後1時間程度	年2回	水元	計画	—	—	実施 (午後)	—	—	—	—	—	—	実施 (朝)	—	—	
		5S活動	年間を通して継続的な5S活動実施 特に整理整頓を強化活動とし、生産性効率UP	年間を通して	各自	計画	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	
Ecoアクション教育	その他の活動	省エネルギーセンターによる省エネ診断結果の報告を社員全員で聞き、知識を深め、意識を高める。	適時	水元	計画	実施	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
		Ecoアクションによる理解を深める為に、教育時間を設けて、勉強会を実施※新人が入った時のみ実施	年1回	水元	計画	新	入	社	員	が	入	り	次	第	実	施		
		環境経営活動目標の月間重点目標を設けて掲示する。 11月:エコドライブ、1月:灯油節約、7月:エアコン節約など	月1回	水元	計画	掲示	掲示	掲示	掲示	掲示	掲示	掲示	掲示	掲示	掲示	掲示	掲示	
		フロンガス簡易点検	3ヶ月に1回	Eco委員	計画	点検	—	—	点検	—	—	点検	—	—	点検	—	—	
緊急事態訓練	想定する緊急事態(工場内で火災発生)に対して火災訓練実施	年1回	全社員	計画	—	—	—	—	—	—	—	—	—	実施	—			
活動計画実施状況の評価			年1回	責任者	環境管理責任													

環境関連法規への違反、訴訟等の有無

環境関連法令等取りまとめ/遵守評価一覧表

遵守評価日：2024年10月10日

評価者：環境管理責任者 水元 淳

適用法令等	内容	遵守状況	遵守評価
騒音規制法	騒音発生特定施設の届出	届出済	○
	地域住民の苦情への対応	苦情なし	○
振動規制法	振動発生特定施設の届出	届出済	○
	地域住民の苦情への対応	苦情なし	○
浄化槽法	特定行政庁へ設置届出	届出済	○
	保守点検基準の遵守	点検（3ヶ月に1回）実施	○
	清掃基準の遵守	清掃（1年に1回）実施	○
廃棄物処理法	廃棄物の適正分別と保管場所の確保	飛散・浸透防止 保管場所の掲示 （掲示板：60cm×60cm）	○
	産業廃棄物の適正処理 （収集運搬、処理業者への委託）	産業廃棄物業者との委託契約 マニフェスト管理（5年間保存） 管理票交付等状況報告書の提出	○
岐阜県公害防止条例	走行クレーン及び圧縮機	届出済	○
消防法	少量危険物の適正管理	指定数量の5分の1以上1未満の 保管あり。少量危険物保管申請 済（組立工場）	○
中濃消防組合 火災予防条例	作業中の防火管理	作業時の 可燃性物品の除去	○
高圧ガス保安法	技術的基準の順守	転倒防止等	○
フロン排出抑制法	フロン類の適正処理	簡易点検の実施 廃棄処理時の適正処理	○
P R T R 法	化学物質使用量の把握	届出不要の連絡済	○

環境関連法規は「環境関連法規等要求事項一覧表」に取りまとめ、定期的に遵守状況をチェックし、違反があった場合は是正することになっています。

環境関連法規等の遵守状況を確認した結果、遵守しており環境に関する苦情、訴訟等の指摘はありませんでした。

なお、過去3年間とも上記指摘はございませんでした。

代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2024 年 10 月 15 日

変更の必要性

環境経営方針	有	無
環境経営目標	有	無
環境経営計画	有	無
実施体制	有	無

総括

今年度も活動は着実に行われ、一年を通して評価できる活動であった。達成状況は、未達項目もあるが特徴的な大きな変化はなく、活動の効果が反映されていると思う。定期的に行うもの（環境測定、地域活動等）、都度対応すること（エネルギー使用協力の呼びかけ等）、新たな取組（室外機の遮光シート等）、バランスよく進めることができた。この活動の形を次年度以降も定着させ効果を高めていく。特に自社独自の新たな取組を活発にしてゆきたい。

今後、エコ活動と会社の業績との関係性は益々強くなる。エコ活動と企業経営のリンクは必須である。売上を上げていくことはとても重要であるが、そのために、どのような取組・活動をしたか、中味も重要になってくる。一つ一つの仕事・作業をエコの視点でみてゆき、より効果的な活動に繋げてゆきたい。

株式会社丸富精工
代表取締役社長
野田泰伸